

中小企業経営診断サービスを利用してみませんか？

『中小企業経営診断システム（McSS※1）』を使った**財務の現状診断結果**を企業の皆さまに**無料**でご提供するサービスをご用意しています。
ご興味をお持ちの方は、お気軽にお問合せください。

※1 McSS：Management consulting Support System

中小企業経営診断システム(McSS)とは？

- ・ 日本最大の中小企業データベース機関である一般社団法人CRD協会が作成した、財務診断ツールです。
- ・ 中小企業の信用力評価ツールとして高い精度を誇るCRDモデル※2を用いて、企業の財務状況を評価します。



※2 CRDモデルは、全国から集積された財務データを元に、企業の経営状態を統計的手法により分析し、信用力を評価するツールです。

CRD協会について

CRD協会は、金融機関・信用保証協会から年100万社超の中小企業法人決算書を収集し、集積データに基づくサービスを提供しています。



中小企業経営診断システム（McSS）でできる『財務の現状診断』

CRDに蓄積された全国100万社の財務統計情報との比較による貴社の『**位置付け**』と、財務面の『**強み・弱み**』が把握できます

- ・ 「CRDランク」「偏差値」「順位」により、貴社の「立ち位置」を表示します。
- ・ 「経常費用分析」「キャッシュフロー分析」「所要運転資金分析」「債務償還年数分析」により、財務面から見た貴社の経営実態を、的確に把握できます。
- ・ 「財務バランスチェック」により、同業種・同都道府県企業群のデータと貴社の財務指標の比較評価ができます。

お問い合わせ先

埼玉県信用保証協会

保証経営支援部	創業支援課	048-647-4720	熊谷支店	保証課	048-521-5221
	経営支援統括課	048-647-4716		経営支援課	048-521-5277
	本部審査課	048-647-4716	川越支店	保証一課・二課	049-249-1681
さいたま営業部	保証一課	048-647-4721		経営支援課	049-249-1671
	保証二課	048-647-4722	春日部支店	保証課	048-731-7311
	経営支援課	048-647-4723		経営支援課	048-731-7312

McSS 経営診断報告書

貴社名: XXXXXXXXXXXXX

【CRDモデルによる経営診断】
ここでは、貴社の決算書とCRDモデルを比較して、全国の中堅企業における貴社の財務力・経営力・成長力・リスクをCRDモデル(A-E)及び偏差値で表しています。偏差値が高いほど優れていることを示しています。また順位は業種内・都道府県内・売上規模区分内での順位を示しています。

決算期	CRDランク (A-E)	貴社 偏差値	サンプル企業 平均偏差値	業種内順位	都道府県 企業群での順位	売上規模区分	売上規模企業群での順位
2021/09期 (12ヶ月)	E	29	36	26902 (26902中)	64182 (164942中)	3千万円超 1億円以下	36682
2020/09期 (12ヶ月)	D	42	36	26902 (26902中)	40876 (164942中)	1億円超 3千万円以下	25195 (26202中)
2019/09期 (12ヶ月)	D	40	36	26902 (26902中)	40876 (164942中)	1億円超 3千万円以下	26802 (26202中)

※決算発表が12ヶ月以内の場合、12ヶ月決算として売上規模区分を算出しています。

【CRDモデルで見た貴社の財務状況】
ここでは、貴社の決算書について、中小企業の財務状況を表す代表的な10カテゴリー別に、CRDモデルでみた財務力の強み・弱みを「○」「●」で表しています。強みの強弱は各カテゴリーについて5段階で評価しています。○が強い(優れている)ほど、●が弱い(劣っている)ほどであることを示しています。また強みの強弱は「○」で表しています。○が強い(優れている)ほど、●が弱い(劣っている)ほどであることを示しています。

評価のカテゴリー	代表的な財務指標	強みの強弱 (○が強い)	財務力の強みを評価した各カテゴリーの平均 (○が強い)
売上高利益	売上高経常利益率、売上高総利益率 など	○	○
調達と運用の適合性	固定長短期比率、固定比率 など	○	○
資本の安定性	自己資本比率、純資産比率 など	●	5.2%
総合収益性	総資本経常利益率、総資本営業利益率 など	●	6.5%
成長性	前年比増収率、前年比増益率 など	●	6.9%
短期支払能力	現預金比率、流動比率 など	●	10.5%
回転率・回転期間	総資本回転率、売上規模回転日数 など	●	10.6%
負債の健全性	減価償却率、売上高減価償却率 など	●	11.5%
債権償還能力	キャッシュフロー-営業利益比率、インテレストカバレッジレシオ など	●	17.5%
借入状況	借入金月均償還率、借入金依存度 など	●	29.3%
合計			100.0%

※「強みの強弱」が「○」は、強みのカテゴリーは、強みの強弱は、CRDモデルの評価結果に由来するものではありません。

総合評価・同業他社比較

- ◆ 貴社の決算書をCRDモデルで評価します。
「CRDランク」「偏差値」「全国同業種内順位」「都道府県内順位」「同売上規模企業群内順位」
- ◆ 財務状況における『強み』と『弱み』を『○』『●』で分かりやすく表示します。

経常費用・キャッシュフロー等分析

- ◆ 貴社の財務体質を分析します。
「経常費用分析」「キャッシュフロー分析」「所要運転資金分析」「債務償還年数分析」

McSS 経営診断報告書

貴社名: XXXXXXXXXXXXX

【経常費用分析】
本分析は、各決算期別に、売上高を100とした場合に、それぞれの経常費用項目(売上原価、販売費および一般管理費、支払利息・割引料)が売上高に対してどの程度となっているか、構成比を算出し、3期を時系列比較したものです。

決算期	売上原価	販売費および一般管理費	支払利息・割引料	合計
2021/09期 (12ヶ月)	88.85	39.20	4.36	132.41
2020/09期 (12ヶ月)	76.76	29.25	4.02	112.03
2019/09期 (12ヶ月)	79.57	18.84	1.94	100.35
経常費用比率 (前年度比)	76.22	22.62	0.40	99.24

【キャッシュフロー分析】
本分析は、貴社の決算書をもとに、関係項目によるキャッシュフローをグラフ表示したものです。

【所要運転資金・債務償還年数分析】
本分析は、貴社の決算書をもとに、「所要運転資金」「債務償還年数」を算出し、貴社の借入状況に問題がないかを検証したものです。

(1) 所要運転資金分析
所要運転資金 = (受取手形 + 売掛金 + 繰上預金) - (支払手形 + 買掛金)
= 短期借入金が必要か否かを判断します。

(2) 債務償還年数分析
債務償還年数 = 長期借入金合計(短期借入金 + 社債 + 長期借入金) ÷ 返済財源(税引後当期純利益 + 減価償却費)
= 毎年の返済財源で借入金を返済するのに何年かかるかを表します。

McSS 経営診断報告書

貴社名: XXXXXXXXXXXXX

【財務・バランスチェック】
ここでは、中小企業の財務状況を表す代表的な10指標について、同業種における位置付け、「中央値(標準的な値)」との比較、及び財務リスク(5-1)を詳細に分析した結果を以下に示しています。

業種: 流通卸売業

評価のカテゴリー	評価指標名	計算式	2021/09期	中央値	リスク	解説(強み・弱みのポイント)
1 総合収益性	総資本経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}} \times 100$	-7.78	1.61	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、売上高増進の努力が必要と見込まれます。
2 売上高利益	売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}} \times 100$	-22.60	0.96	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、売上高増進の努力が必要と見込まれます。
3 回転率・回転期間	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} \times 100$	0.34	1.72	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、売上高増進の努力が必要と見込まれます。
4 短期支払能力	現預金比率	$\frac{\text{現預金}}{\text{売上高}} \times 100$	3.25	10.75	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、短期借入金の返済に支障が生じる可能性があります。
5 資本の安定性	自己資本比率(コバレ指数)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	2.81	11.73	I2	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、資本の安定性が低いと見込まれます。
6 調達と運用の適合性	固定長短期比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{流動負債}} \times 100$	93.67	69.22	I2	業種全体で最も高い水準にあり、同業種内でも高い水準にあり、流動性の確保に注意が必要です。
7 借入状況	借入金月均償還率	$\frac{\text{借入金返済額}}{\text{借入金}} \times 100$	30.35	3.75	H1	業種全体で最も高い水準にあり、同業種内でも高い水準にあり、借入金の返済に支障が生じる可能性があります。
8 債権償還能力	キャッシュフロー-営業利益比率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業利益}} \times 100$	-5.30	16.96	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、債権の回収に支障が生じる可能性があります。
9 負債の健全性	減価償却率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{固定資産}} \times 100$	3.87	28.26	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、固定資産の更新に注意が必要です。
10 成長性	前年比増収率(コバレ指数)	$\frac{\text{売上高(後年)} - \text{売上高(前年)}}{\text{売上高(前年)}} \times 100$	-32.10	3.21	H1	業種全体で最も低い水準にあり、同業種内でも低い水準にあり、売上高の増進に努力が必要です。

※決算発表が12ヶ月以内の場合、12ヶ月決算として売上規模区分を算出しています。

財務バランスチェック

- ◆ 貴社の財務指標を、CRDに集積された同業種・同都道府県企業群のデータと比較評価します。
「代表的な10指標による財務バランスチェック」「より詳細な38指標による財務指標一覧」